

安倍政権の暴走にストップを！ 日本の民主主義と平和憲法を守ろう！ の世論を大きくひろげましょう

時の政権が勝手に憲法解釈を変えて、集団的自衛権の行使に踏み切り、自衛隊がアメリカと一緒に海外で戦争をする。そんな日本にはなりません。多数議席を背景におごり暴走する安倍政権に対して、多くの国民はもちろん、メディアも海外の世論も批判を強めています。

教育委員会制度や教科書検定制度を改悪し、政治が教育に直接介入して統制を強め、憲法改悪への道筋をつけようとする危険な動きも止めなければなりません。

民主主義を守り、憲法をしっかり根づかせるとりくみに、いっそう力をあわせましょう。

許すな！戦争のできる国づくり
守ろう！子どものいのちと人権

今こそ生かそう 憲法を！

開く

教育子育て九条の会 第6回全国交流集会

昨年12月1日、長野市で第6回全国交流集会を開催しました。開催にご協力をいただいた長野のみなさんをはじめ、全国の様々な分野からご参加いただき、大変充実した集会になりました。ありがとうございました。

記録集ができましたので、ご希望の方に差し上げます。
事務局までお知らせください。

憲法を守りいかす活動をひろげていくために、

カンパのご協力をお願いします！

教育子育て九条の会の活動にご支援をいただき、ありがとうございます。会の活動はすべて皆様のカンパで支えられており、長野集会も皆様のご協力をいただき、成功させることができました。

しかし、憲法をめぐる危険な動きが強まる中、今後さらに活動をひろげていくためには、財政的に大変厳しい状況になっております。消費税増税など、なにかと経済的な負担がかさむ折から、まことに恐縮でございますが、いっそうのご支援・ご協力をいただきたく、よろしくご申し上げます。

郵便振替 [口座番号] 00170-0-616245、[加入者名] 教育子育て九条の会

憲法と子育て・教育をつなぎ

ひろく社会に発信し、とりくみを強めましょう

第12回呼びかけ人会議開く

教育子育て九条の会は2月27日（木）、第12回呼びかけ人会議を開きました。安倍内閣が“強い国づくり”をかかげ、改憲と教育改悪の政策を一体におしすすめている今日、「憲法と子育て・教育をつなぎ、憲法を守りいかにするために社会的な発信を強めていこう」と、話しあいました。

(1) 安倍「教育再生」政策の内容とは

冒頭、子どもと教科書全国ネット21の俵義文事務局長が、安倍教育政策の重点である①教科書の検定基準の改悪、②教育委員会制度の改悪、③教育再生推進法案（仮称）の準備などの動きについて報告しました。

(2) これらの政策の危険性をどう見るか

佐藤学さんからは「とんでもない速さで、とんでもないことが起きている。多くの人がおかしいと思いつつも押し切られる状況にある」ことへの警鐘が語られ、池田香代子さんからは、「安倍首相が『旧教育基本法は占領下につくられたもの。国民はみんなマインドコントロールされていた』というような言葉を、国会で軽々に言うてしまう」ことの危うさが指摘されました。

堀尾輝久さんからは「これまで新自由主義のもとで地方分権を口実に、各地で教育の改悪がすすめられてきたが、安倍内閣は『もう一度、国家が教育のあり方をつかみ直そうとの意図』をあらわにしてきたと見た方がいい」という視点が出されました。

(3) 私たちは、何をどのようにとりくむか

香山リカさんは『暴走を止めよう』とか、正しいことをただ発信し続けるだけでは駄目で、例えば無関心と言われる若者などへの働きかけの工夫が必要」と述べました。

厳しい情勢ではあるが、「反原発で若者が国会に集まっている」「特定秘密保護法の廃止を求める動きが続いている」「高校生の憲法意識調査（日本高等学校教職員組合、2012年）では『9条を変えない方がよい』が63%で、だんだん増えてきている」など、前向きな動きをしっかりとらえて、とりくみの工夫をしていくことが必要だとの意見が出されました。

当面の具体的なとりくみとして、①第7回全国交流集會を12月7日に埼玉で開く、②各地域や分野別九条の会などとの共同を追求し、講師派遣や学習会などにとりくむ、③ブックレット第2弾の作成、④ホームページなど宣伝の工夫の強化、などを確認しました。

教育子育て九条の会 第7回 全国交流集會

2014年12月7日（日）さいたま市

埼玉のみなさんと相談をはじめています。どうぞ
ご予約ください。



教育子育て九条の会 の
これからのとりくみについて
事務局までご意見をお寄せください。